

## 会 議 録

会議の名称	平成30年度第1回渋川市子ども・子育て会議
開催日時	平成30年11月30日（金）午後3時～4時30分
開催場所	渋川市子育て支援総合センター 多目的ホール
出席者(委員)氏名	斎藤周委員(会長)、前田由美子委員(副委員長)、星野敬太郎委員、鈴木由紀委員、千木良範子委員、佐藤尚子委員、栄口寛委員、塚越博委員、倉地里依委員、佐藤晃一委員、大島あゆみ委員、室橋俊之委員、野村薫委員
欠席者(委員)氏名	小林由井子委員、斎藤順二委員、狩野美喜子委員、三橋新太郎委員、山田裕樹委員、宮崎裕美委員、内田裕美委員
出席者(事務局)氏名	諸田保健福祉部長 こども課 中山課長、荒木統括主幹、後藤主査、中村主任、狩野主事
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 渋川市子ども・子育て会議会長 渋川市保健福祉部長</p> <p>3 議事 (1) 第2期子ども・子育て支援事業計画の策定について (2) 第2期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
会議資料	<p>資料1 第2期子ども・子育て支援事業計画の策定について</p> <p>資料2 計画策定に係るスケジュール</p> <p>資料3 第2期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施について</p> <p>資料4 ニーズ調査票案（就学前児童用）</p> <p>資料5 ニーズ調査票案（小学生用）</p> <p>資料6 しぶかわ子育てひろば『子育てしやすくしたい』</p>

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	<p>1 開会</p> <p>2 委員委嘱</p> <p>3 あいさつ</p> <p>会長 保健福祉部長</p> <p>4 議事 (条例第6条に基づき会長が議長を務める)</p> <p>(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画の策定について</p> <p>(2) 第2期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施について</p>
会長	<p>議事（1）第2期子ども・子育て支援事業計画の策定について」、「議事（2）第2期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施について」は関連する議案ですので、事務局より一括で説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(計画策定に関する説明)</p> <p>議事（1）第2期子ども・子育て支援事業計画の策定について説明いたします。</p> <p>計画策定にあたっては、教育・保育及び地域子育て支援事業の体制確保と総合的な推進を目的に、平成27年から31年までを計画期間とした第1期渋川市子ども・子育て支援事業計画の計画期間満了に伴い、子ども・子育て支援法第61条に基づき策定するものです。</p> <p>第2期計画は、平成32年から36年までを計画期間とし、現計画の基本理念、基本支店、基本目標を引継ぎ、施策の推進や達成状況を検証し反映をします。</p> <p>また、今年度、アンケートによるニーズ調査を実施し、子育て環境の変化の把握、分析を行うと共にその調査結果を反映します。</p> <p>第2期計画策定にあたって、本市における子育て支援事業の実施に必要な意見集約を行うため、保健福祉部長を委員長とし各関係課長からなる構成される庁内検討委員会、子ども・子育て会議、各部長で構成される庁議の体制において策定をします。</p> <p>スケジュールについては、平成30年度に、策定の基礎資料となるニーズ調査を実施し集計を行います。</p>

平成31年度は、計画策定の年となり、子ども・子育て会議も4回開催し計画を策定いたします。また、計画案について、市民意見公募を行う予定となっておりますのでよろしくお願い致します。

(ニーズ調査実施に関する説明)

引き続き、第2期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施についてご説明いたします。

ニーズ調査の目的は、平成32年度を始期とする「第2期渋川市子ども・子育て支援事業計画」策定のため、教育・保育や子ども・子育てに関する実態、子育て支援に関する意向について調査を行います。

調査項目は、内閣府の示した「第二期市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出の考え方」と現行計画策定時に実施したニーズ調査、子育てに関する現状と課題等を踏まえて設定します。

対象者は、渋川市内の就学前児童の保護者1,800人、小学生1年から6年生の保護者1,400人に実施し、就学前児童の保護者に対する調査は、郵送により調査票の配布及び回収を行い、小学生の保護者に対する調査は、学校を通じ調査票の配布及び回収を行います。

調査実施期間は、平成31年1月7日から21日を予定しニーズ調査回収後は、調査対象者全体の意向を把握するため、対象者の設問ごとに、全体集計及び地域、年齢等設問等の各層の特徴的な傾向を表した分析集計を行います。

また、自由回答については、回答の分類分けを行い取りまとめをします。

(調査概要に関する説明)

この調査は、単なるアンケート調査ではなく、調査を基礎として最終的には渋川市の定期的な教育、保育事業、保育所、認定こども園、幼稚園施設、地域子育て支援事業の放課後児童クラブ、一時預かり、時間外保育事業、子育て支援事業の見込み量を算出するための調査になります。

基本的には国の示した調査票と手引きにより推計を行います。

就学前児童の保護者の方を対象とした調査票は自由記載を含めると32問の設問となっています。地域を伺う設問が1問、家族の状況について5問、育ちを巡る環境について5問、保護者の就労状況について3問、平日の定期的な教育、保育

の事業の利用状況について2問、地域の子育て支援事業利用について3問、土日、休日、長期休業中の定期的な教育・保育事業の利用希望について2問、病気の際の対応について1問、不定期の教育保育事業や宿泊を伴う一時預かりについて3問、5歳以上になったときの放課後の過ごし方の希望について4問、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について1問、問31において、渋川市の独自の設問として、子育て環境や支援の満足度を問う設問と問32として自由記載の項目となっています。

基本的には、国が示した第2期計画の設問は、前回調査とほぼ変更はなく、今回調査の追加設問は3つで、小規模保育施設について、幼稚園の預かり保育を希望するかについて、育児休業給付、保険料免除の周知度についてを問う質問が制度改正等により追加されています。

更にアンケート調査は情報発信をする貴重な機会となることから、しぶかわ子育て応援ナビ、メール会員募集の案内も表示してあります。

また、小学生の保護者の方を対象とした調査は、基本的には就学前児童の保護者調査の抜粋項目による調査となります。

この2つのアンケート調査結果において、8つの分類に分けて家庭類型を算出します。その後、一号認定の3歳から5歳までの幼稚園利用を中心とした教育ニーズの算出、二号認定の3歳から5歳までの保育ニーズの算出、3号認定の0歳から2歳までの保育ニーズを算出し、それ以外の時間外保育事業、放課後児童クラブなどの地域子育て事業の見込み量を算出し報告書としてまとめます。

会長

ひととおり説明いただきましたので、ご意見ご質問の場合はお願いします。

委員

今回の調査対象は、未就学児童の保護者1,800人、小学生の保護者1,400人と説明を受けたが、全体のどの位の割合なのか。

事務局

調査対象者数の算出根拠ですが、4月1日現在の子どもの数により算出しています。

未就学児童については、3,109人（調整数200人を含む）で、これを一般的な世論調査のサンプリング算出根拠に基づいて算出すると1,800人となり、回収率65%で

1, 170人の回答を見込んでいます。なお、分析に必要な最小必要数は、342人分となりますので十分、分析ができる対象者数となっています。

また、小学生は3,501人であり、サンプリング算出根拠による算出では、2,000人となり、回収率65%を見込むと1,300人分となります。今回調査においては、学校を通じて配布、回収を行うため、この回収率を見込んだ数を基に、1,400人としました。回収率は90%で1,260人分を見込んでいます。なお、調査の分析に必要な最小必要数は、346人分ですので十分、分析ができる数値となっています。

更に、前回の調査では1年から3年生を対象としましたが、今回の調査は1年から6年生の保護者を対象としています。

委員

ニーズ調査については、子ども・子育て支援制度のより、子育て中の保護者に対するアンケートですか、独身者や今後、結婚して子育てをするような若い方を対象とした調査はしないのでしょうか。

事務局

今回のニーズ調査は、子育て中の保護者を対象としています。来年度、計画案できあがった時点で市民意見公募により広く意見聴取を行います。ご意見等があった場合、改めて、子ども・子育て会議で報告をいたします。

委員

保育所の入所について、就学前児童の調査に第1希望の保育所に入園できたかを調査できないのでしょうか。

事務局

ニーズ調査に入れられるかを検討いたします。  
(検討結果により、入所申込みと入所状況により把握ができるため、後日、取りまとめ各委員に郵送にて報告をする。このため、調査には項目を設けないこととします。)

委員

世論調査のサンプリング算出根拠に基づいて算出をしているが、全ての子育て中の保護者に調査にした場合の費用はかかってしまうのでしょうか。

事務局

今回調査については、計画策定のための基礎資料のための調査であり、全ての子育て中の保護者の方を対象として実施しても、計画策定のための集計結果に変化が現れないため抽出調査としています。

また、費用については算出していないのでわかりませんが集計、郵送料は現在よりもかかってくるものと思われます。

委員

子育て環境という表記がわかりにくいがどのようなものを対象としているのでしょうか。もう少し具体化できるが検討をお願いします

事務局

子育て環境と言うとハード面、ソフト面とありますが、今回のニーズ調査においては、子育て支援に関わる環境であり、子育て支援事業等と想定しています。

表示については検討をいたします。

また、今回調査について、本市の政策の状況を検証するため、第2子保育料無料、給食費の無料についてもアンケート項目にいれさせていただいております。

(検討結果、子育て環境を子育て支援事業と置き換える)

会長

その他いかがでしょうか。

本日の会議でアンケート内容を決定することですが、先程までの調整等を踏まえまして、この調査内容により調査を実施してよいか、おはかりしたいと思います。可否を伺いたしたいと思います。

質問のありました項目を検討していただくこととして、提示を受けたニーズ調査内容により実施してよろしいでしょうか。

ご承認をいただける場合は、拍手をお願いします。

(賛成多数)

ありがとうございました。

多数の賛同をいただきましたので、ご説明いただいた内容で調査を行うことを本会議といたしまして承認したと思います。

以上で本日の議題は、全て終了いたしました。これで、議長の座を降ろさせていただきます。

## 5 その他

事務局

しぶかわ子育てひろば『子育てしやすくしたい』という資料をお配りさせていただきました。

この資料は、平成21年度より開催している子育て支援講座で、ファーストステップ、セカンドステップ、サードステップの各6講座、全18講座を開催しています。

	<p>先日、サードステップが終了し、その参加者がまとめたものです。講師には、本会議副会長の前田委員にお世話になっており、今回もアドバイスをいただきながら、参加者が取りまとめました。詳細な説明は前田委員にお願いいたします。</p>
副会長	<p>しぶかわ子育てひろばは、渋川市で開催している連続の講座です。</p> <p>サードステップは、様々な研究や海外の子育て支援の事例も勉強しており、自分たちの地域に置き換えて改善できることを大学のゼミのような感じで議論を進めてまとめています。</p> <p>受講者からも子ども・子育て会議で紹介してほしい旨の意見がありましたのでお配りさせていただいております。</p> <p>この10年くらいの中に、母親たちが限界に来ていると思われれます。しかし、このような意見を提出すると抗議や苦情と誤解をされ、実際思いが伝わらないこともあります。子ども・子育て会議は、社会と子育てを議論する場所ですので資料をお配りさせていただいています。表現が不足して伝わりにくいところもありますが子育て中の保護者の生の意見なので見ていただけたらと思います。</p>
委員	<p>困っていることを伝えたいということでしょうか。また、解決案はどう対応するのか。</p>
副会長	<p>困っていることをどうしたらよいかということでは要望ではありません。</p> <p>受講者に意見を出してもらおうと、どうしても「こうしてほしい」が先だってしまうますが、まずは困っていることから検証して、「こうなったらよい」が解決案として取りまとめてあります。</p>
委員	<p>P T A とかの雑談でも同様な内容がある。先日、市長との懇談会でも同様な話しが出ていました。</p>
事務局	<p>内容の全ての解決は難しいですが、受講者の意見よりファミリー・サポート・センター利用促進助成や子育て専用ウェブサイトの開設など事業化したこともあります。</p>
	<p>6 閉会</p>